

様式第3号（第2条関係）

震災時等における危険物 仮貯蔵 仮取扱い 実施計画書

年 月 日
住所 〔法人にあつては、その主たる事務所の所在地〕
届出者 氏名 〔法人にあつては、その名称及び代表者の氏名〕
電話

仮貯蔵（仮取扱い）の目的		震災等により屋外貯蔵タンク等が損傷した場合に、危険物の流出を最小限におさえることを目的とし、被災した屋外貯蔵タンクから別の屋外貯蔵タンクへの移送及び危険物回収業者が所有する防爆型ポンプを用いて移動タンク貯蔵所及びドラム缶への燃料の注油（抜き取り）を行う。				
仮貯蔵（仮取扱い）品名及び数量		第四類第1石油類（ガソリン） 〇〇リットル（〇KL×1基） 第2石油類（軽油、灯油） 〇〇リットル（〇KL×各1基） 第3石油類（廃油） 〇〇リットル（〇KL×1基）				
場 申 所 請	地名地番					
	管理者氏名					
	敷地及び周囲の状況	別紙のとおり				
仮貯蔵及び仮取扱いに使用する建築物、工作物又は施設の状況	屋 内	敷地面積	m ²	屋 外	敷地面積	m ²
		建築面積	m ²		空地 その他	
		構 造				
危険物の貯蔵、容器、及び取扱い、管理の状況		1 切替弁2カ所を開放し、被災した屋外貯蔵タンクからNo.〇予備タンク（〇〇KL）に燃料を移送する。 2 被災した屋外貯蔵タンクの払出配管より下部の燃料については、危険物回収業者に委託し、〇KLローリーにより最大〇台で抜き取る。 3 200リットルの金属製容器（ドラム缶）にて最大〇本を別に貯蔵する。 4 ドラム缶の貯蔵場所には保有空地を〇m確保する。 5 高温になることを避けるため、通気性の良い日よけを貯蔵場所に設置する。 6 危険物の抜き取りには、業者が使用する防爆型ポンプを使用する。 7 標識・掲示板を設置し、関係者に次の事項について注意喚起を行う。（「危険物仮貯蔵、仮取扱い所」「品名・数量・倍数」「火気厳禁」） 8 保有空地の周囲にバリケードを立て、関係者以外の立入を禁止する。 9 敷地への出入り管理を徹底し、いたずら・盗難を防止する。 10 作業前と作業後に点検を行い、その結果を記録する。				
安 全 対 策		1 移動貯蔵タンク、注油に使用する防爆型ポンプのアースを確保する。 2 危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者が行う。 3 危険物を取り扱う者は、静電安全靴を使用する。				
消 火 設 備		第5種消火設備 粉末消火器〇本				
危険物取扱者		住所 氏名				
その他必要事項						

（注） 位置・構造・設備及び付近50m以内の公衆集会所、その他住宅等を記入した見取図を添付してください。

別図
仮貯蔵・仮取扱の実施計画書（屋外貯蔵タンクからの燃料等の移送、屋外貯蔵タンクからの燃料等の採取、ドラム缶等による燃料等の貯蔵の安全対策の例）

